

令和4年第2回定例会 一般会計予算・決算審査特別委員会（第1日目）
総務文教分科会審査記録

- 1 日 時 令和4年6月15日（水） 午前10時53分
- 2 場 所 市役所 第一委員会室
- 3 議 題 議第77号 令和4年度村上市一般会計補正予算（第3号）
- 4 出席委員（7名）
- | | | | |
|----|-------------|----|-------|
| 1番 | 上村正朗君 | 2番 | 山田勉君 |
| 3番 | 鈴木いせ子君 | 4番 | 佐藤重陽君 |
| 5番 | （欠番） | 6番 | 高田晃君 |
| 7番 | 小杉武仁君（副委員長） | | |
| | 委員長 大滝国吉君 | | |
- 5 欠席委員
なし
- 6 傍聴議員（4名）
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 菅井晋一君 | 富樫雅男君 | 河村幸雄君 |
| 渡辺昌君 | | |
- 7 地方自治法第105条による出席者
議長 三田敏秋君
- 8 オブザーバーとして出席した者
なし
- 9 説明のため出席した者
- | | |
|------------|--------|
| 副市長 | 忠聡君 |
| 総務課長 | 東海林豊君 |
| 同課参事 | 小川智也君 |
| 財政課長 | 長谷部俊一君 |
| 同課契約検査室長 | 立花強君 |
| 同課財務管理室長 | 榎本治生君 |
| 企画戦略課長 | 大滝敏文君 |
| 同課参事 | 山田美和子君 |
| 同課企画政策室長 | 忠康博君 |
| 同課企画政策室副参事 | 田村政和君 |
| 同課行政改革推進室長 | 五十嵐博君 |
| 同課地域交通政策室長 | 須貝直毅君 |
| 会計管理者会計課長 | 菅原明君 |
| 消防長 | 田中一栄君 |
| 消防本部次長 | 瀬賀誠君 |
| 消防本部総務課長 | 小林精司君 |
| 消防本部消防広報係長 | 松浦知之君 |
| 選管・監査事務局長 | 木村俊彦君 |
| 荒川支所長 | 平田智枝子君 |
| 神林支所長 | 加藤誠一君 |
| 朝日支所長 | 岩沢深雪君 |

| | |
|-------------|---------|
| 山北支所長 | 大滝 寿君 |
| 教 育 長 | 遠藤 友春君 |
| 学校教育課長 | 渡辺 律子君 |
| 同 課 参 事 | 今井 雅仁君 |
| 同課教育総務室長 | 中山 晴剛君 |
| 生涯学習課長 | 平山 祐子君 |
| 同課スポーツ推進室長 | 倉松 淳志君 |
| 同課スポーツ推進室係長 | 石 栗 英俊君 |

10 議会事務局職員

| | |
|-----|---------|
| 局 長 | 内 山 治 夫 |
| 次 長 | 鈴 木 渉 |

(午前10時53分)

特別委員長（大滝国吉君）開会を宣する。

○本特別委員会の審査については、本特別委員会に設置した総務文教分科会の所管事務について審査することとし、同分科会の審査については、分科会長には総務文教常任委員長が、副分科会長には総務文教常任副委員長が就任し、議事運営することとした。

分科会長（小杉武仁君）総務文教分科会の開会を宣する。

○本日の審査は、議第77号の総務文教分科会所管分について審査した後、議第77号の総務文教分科会所管分について賛否態度の取りまとめを行う。

日程第1 議第77号 令和4年度村上市一般会計補正予算（第3号）のうち総務文教分科会所管分を議題とし、担当課長（財政課長 長谷部俊一君、山北支所長 大滝 寿君、生涯学習課長 平山祐子君）から歳入の説明を受けた後、歳入についての質疑に入り、歳入についての質疑終了後、歳出についての説明を受けた後、歳出についての質疑に入る。

歳入

第15款 国庫支出金

（説 明）

財政 課長 それでは、予算書の8P、9Pをお開きください。15款2項1目総務費国庫補助金、説明欄1の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2,110万円である。こちらは、歳出の第3款民生費及び第4款衛生費に計上している新型コロナウイルス感染症緊急対策経費の財源として計上している。

生涯学習課長 おはようございます。では、続いて15款3項3目教育費委託金の説明欄1、ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点機能強化事業委託金1,500万円である。令和4年3月30日付、スポーツ庁長官より村上市スケートパークが競技別強化拠点施設の指定を受けたことにより、国からの委託金を歳入するものである。以上である。

第19款 繰入金

(説明)

財政 課長 次に、その下、19款2項6目ふるさと応援基金繰入金60万円である。こちらは歳出の第7款商工費の観光振興一般経費の財源として計上している。以上である。

第20款 繰越金

(説明)

財政 課長 続けてまいるが、次に第20款繰越金である。このたびの補正予算を編成するに当たり、国庫支出金、市債などで措置できていない一般財源について、前年度繰越金4,152万8,000円を追加計上している。

第22款 市債

(説明)

財政 課長 続いて、第22款市債である。10P、11Pになるが、こちらの1節道路橋りょう債であるが、説明欄1の除雪対策事業債として1,400万円を計上している。こちらは、歳出のほうの第8款土木費の除雪対策経費の財源として計上しているものである。以上である。

歳入

第15款 国庫支出金、第19款 繰入金、第20款 繰越金、第22款 市債

(質疑)

上村 正朗 それでは、財政課に、9Pの総務管理費補助金の2,110万円の関係でちょっとお聞きしたいと思う。充てる内訳は分かっていたけれども、今回交付決定を受けた額というのはこれだけではないだろうか。

財政 課長 追加で交付決定を受けた金額については、一般質問の中でもお答えしている部分があるが、令和4年追加配当額、これは限度額ということでの金額だが、こちらについては3億1,227万6,000円だった。そして、それ以前に配分決定をいただいて、まだ予算に計上していない金額もある。こちらが5,003万3,000円ということで、今回2,110万円を計上しているが、配分をいただいて未計上、まだこれから使うことが可能だという金額が現時点で3億6,230万9,000円である。

歳出

第2款 総務費

(説明)

山北支所長 それでは、お願いいたす。12P、13Pをお開きください。2款1項7目の支所費になる。説明欄の1として山北支所庁舎の管理経費、工事請負費1,570万円を計上させていただいている。この工事費については、庁舎の外壁の塗装工事及び駐車場の舗装打ち換え工事を予定している。山北支所の庁舎においては、平成24年に新築工事させていただいて、平成27年度に最初の外装工事を行った。基本的にはその後5年ごとに塗り替え工事というものが庁舎をもたせるために必要となるということで指示を受けているが、なかなか予算の都合上いけなかったものだが、今回お願いすることとなった。今シーズンの冬の状況からして、次回の冬のシーズンがなかなか、シーリング等の劣化も目立つようになってきて、工事時期を考えると今補正を上げさせていただいて、お願いするというような状況を判断させていただいている。ま

た、職員駐車場の舗装工事、打ち換えについては、舗装自体がもう40年以上経過していて、部分的な排水がうまくいかなくて、駐車場の半面がもう水浸しになるというような、なかなか抜けない状況がずっと続いていた。その中で、様々な改修工事をちょこちょこ行いながら、オーバーレイをやったり、水を切ったりということを作業していたが、なかなか抜ける状況がないというようなことがあった。その中で、昨年度の冬、厳寒の中では水たまりの部分が凍るというようなこともあって、普通車が約49台ほど、それから保育園の送迎車両が5台、それからスクールバス等々のバスが8台の入れるような車庫もあって、そこの利用頻度からすると、安全確保とか、そういう部分も考えて、今回同時に補正をお願いして、工事をしたいということで提案をさせていただいている。よろしく願いいたします。

第10款 教育費

(説明)

生涯学習課長 では、16P、17Pをお開きください。10款5項1目保健体育総務費の説明欄1、地域スポーツコミッション経費326万円であるが、市ではスケートパークを核として、スポーツ振興のみならず、地域活性化の取組を促進し、スケートボードの聖地「むらかみ」に近づけていくため、市と民間団体等が連携、協働し、一体となって取り組むネットワーク、村上スケートボードコミッションを令和4年3月18日に設立した。構成団体は、村上市、日本スケートボーディング連盟、村上市観光協会、瀬波温泉旅館協同組合である。このたびの補正で活動に必要な印刷製本費、看板等作製業務委託料、スケートボーダー育成キャンプ業務委託料をそれぞれ計上させていただいた。続いて、その下、説明欄2、ナショナルトレーニングセンター経費1,711万円であるが、歳入でもご説明させていただいたが、スケートパークが競技別強化拠点施設の指定を受けたことにより、事業実施に当たり必要となる経費について計上したものである。具体的な経費といたしては、エアマットなどの機械器具借上料として1,160万円を計上したほか、協力者謝礼として184万円、スタッフ旅費として64万3,000円、事業実施時のスタッフ配置等の委託料302万7,000円を計上している。協力者謝礼の中には、市独自に来年度につなげていくための効果的な取組として医科学的な見地も取り入れたいと考えており、スポーツドクターや管理栄養士などの謝金もこちらに含ませていただいている。以上である。

第14款 予備費

(説明)

財政課長 その下、第14款予備費7万4,000円であるが、こちらは端数調整のため補正を行うものである。

第2条「第2表 地方債補正」

(説明)

財政課長 続いて、4Pになるが、第2表、地方債補正である。こちらは、今回道路橋りょう債の限度額の変更ということである。このたび歳入で市債を追加計上した関係で、予算第2条により変更を行うものである。以上である。

歳出

第2款 総務費

(質 疑)

佐藤 重陽 山北庁舎の庁舎管理費ということで上がっている中身についてなのだけれども、先ほど大体分けて舗装、吹き替え塗装、車庫の建設というか改良というか、出たと思うのだけれども、庁舎維持管理のために、その中で舗装や車庫のことはしようがないと思うのだけれども、吹き替え塗装を維持管理のために5年周期でやらなければいけないということを言われていたと言われるのだけれども、5年なんていう周期はあまりにも短過ぎるのではないのかなと思うのだけれども、どうなのか。

山北支所長 まず、工事は、駐車場はアスファルトの打ち替えになる。そこだけになる。それから、庁舎の塗り替えについては、塗料の関係もあるのだが、塗料の耐用年数自体がもう当初木質の部分での浸透性のある塗料ということで最初はやっていくというふうなことがある。建設当時から、それは最初はそのスパンを短く、3年で1回やる。その後は5年ずつというのが、それ一番当初から指摘されていることなのだろう。それがあまりにも短過ぎるかもと、状態を見ながら要望はしていくのだが、今回7年目を越えて、今年の冬、現場を見ると、やっぱり木がやせてきている部分もあって、隙間が空いてきたとか、一部割れてきているような部分もある。そういうところの手当ても含めて全体を見るというような形で塗装をお願いするものであるが、木質の部分については南側と東側の壁面になる。それから、サイディングで、西側と北側については潮風、それから北側の風の考慮を考えて、サイディングでの西側、北側の壁はそういうような材質になっているのだけれども、塗料は2種類を使って、やはりサイディングの部分についても10年を経過して、手で触ると粉が落ちてくるような状況になるのがもう壁質の限界を迎えているような状況があるというふうなことでの指摘というか、言い方があるので、そこに沿って今回一緒にやらせていただくというようなことで前面の塗装、打ち換えをお願いするという内容になる。以上だ。

佐藤 重陽 維持管理のためには大事なことだとは思っているのだけれども、その周期、舗装や何かは、さっきも言ったようにいいのだけれども、塗装部分の維持管理のための予算というのは、実際にどれぐらいかかっているというか、予定されているものなのか。

山北支所長 一応塗装全部で、工事費今予定しているのが500万円ちょっとになる。平屋ではあるが、軒天の裏とかというのもあるので、足場をかけなければいけないということで、その足場費用が結構やっぱりかかるような状況があるので、今の予定だと500万円を若干超えるような予算額になる。

佐藤 重陽 では、今回たまたま7年、10年ともたせたみたいだけれども、通常であればこれからは5年周期でということになると、5年ごとに五百何十万円、これからまた上がるだろうから、500万円、600万円、700万円ぐらいのところは5年周期でかかってくと。何か非常に固定した維持管理費としては、せっかく山北支所だからということで特徴的なということで木質、木を使った庁舎にしたのだけれども、思わぬところで維持管理費が出ていくような気がしないでもないのだけれども、そんなことを一応意見言わせていただいて、結構だ、あとは。

第10款 教育費

(質 疑)

上村 正朗 それでは、生涯学習課のほうに初歩的なことを、すみません、お聞かせいただきました

- と思う。地域スポーツコミッション経費の中の育成キャンプの業務委託で予算上がっているのだが、これはどういう団体に委託をするものなのだろうか。
- 生涯学習課長 予算の議決前なので、まだはっきりしたところは今申し上げられないけれども、スケートボードの事業で委託契約、今現在しているところがある。性質上というのだろうか、事業の性質上、運営上、そういったところに委託するというところが最善ではないか、効果的ではないかというところで考えている。
- 上村 正朗 すみません、あくまでも固有名詞で教えてくれということではなくて、今のような回答で結構だ。続いて、トレーニングセンターのほうにも業務委託があるのだけれども、やっぱり同じような専門的な知見を持っている団体をお願いするというところでよしいのだろうか。
- 生涯学習課長 おっしゃるとおりである。
- 上村 正朗 それと、もう一つ、トレーニングセンターを今年造るといふかということで、直接的な経済的な効果だけでももちろんこれやるわけではないのだけれども、具体的に今年度、今年度は途中からだから、なかなか難しいと思うけれども、何人ぐらいの方がセンターを利用して、例えば瀬波温泉に泊まるのかどうか分からないけれども、その辺の人数的なものというのは大体積算しているものだろうか。
- 生涯学習課長 強化指定選手の数といたしては、ストリートで14人、パークで12人、こちら確定をしている数になる。この総勢26人の方が、はっきりしたことは申し上げられないけれども、場合によっては近くの温泉に泊まってくれて、そこで飲食をしていただくというような経済的な波及が一つは見られるのかなというふうに思う。また、強化指定選手が今後スケートパークを利用して、競技に励んでいくわけなのだけれども、その練習が終わった後についてはスケートパークを今度自由に使ってもらって、ナショナルトレーニングセンターの枠の中ではなくて、自分の自己研さんというのだろうか、そういったところで動きというか、活動しているところが生の姿として見ることができると思うのだ。そうしたときに、同じスケートパークに来ていらっしゃる子どもたち、また保護者の方等々含めて、じかに一流アスリートの動き、練習風景を見ることができるので、そういったところで子どもたちのモチベーションの向上にはつながっていくものというふうに考える。
- 上村 正朗 最後に、ナショナルチームの合宿の日程というか、今現在で分かる時期とか日数とかがもし分かれば教えてください。
- 生涯学習課長 すみません。大事なことを言っていないで、申し訳なかった。今年度8月から3月までの月、第1週、第2週の土日、計32回の半日間を予定している。
- 佐藤 重陽 同じく保健体育総務費の中に出てくる、今のナショナルトレーニングセンター経費の中で、事業を委託するのだということで予算化されている部分と、協力者謝礼184万円か、というふうな予算立てになっているのだけれども、協力者謝礼というのは業務委託の部分とは違うわけ。
- 生涯学習課長 こちらの協力者謝礼については、ナショナルトレーニングセンターのマネジメントスタッフの謝金ということで考えている。なので、実際事業を委託する中身とは違ってくるというものになる。
- 佐藤 重陽 マネジメント会社が入っているわけね。そうしたときに協力者謝礼という項目でいいのかな。もうちょっと別な項目立てしないとどうなのだろうなと。であれば、逆に言えば、それがそのものも含めて事業委託の中に入っているのだというのだったら分かるけれども、あえて謝礼として出している、その予算の出し方というのがど

うなのだろうなと今ちょっと疑問に思っているのだけれども、その辺全然問題なく考えているか。

生涯学習課長 すみません。スポーツ推進室長のほうから答弁いたさせる。

スポーツ推進室長 よろしく願います。協力者謝礼については、スポーツ庁ともちょっと相談をしながら、予算計上をさせてもらった経緯があつて、委託費に含めるのではなくて、協力者謝礼として計上したほうがいいというふうなことの指示も受けて、このような形で上げさせてもらっている。

佐藤 重陽 スポーツ庁の指導もあつてということね。ちょっと分かった。

高田 晃 では、私も今のナショナルトレセンの関係でちょっと方向を変えて質問したいと思うが、その前に、課長の説明で機械器具借上料、エアマット等の借り上げで1,100万円計上と、エアマットって、これどこに設置するのか。

生涯学習課長 すみません。スポーツ推進室長のほうから答弁いたさせる。

スポーツ推進室長 エアマットについては、今スケートパークのほうではパークとストリートと分かれてあるわけなのだけれども、パークのほうでも高くジャンプしたときの安全面で配慮するためのマットというふうな形でも使われるし、ストリートのほうでも階段がある。その下にけがの防止ということで設置することを想定している。

高田 晃 分かった。エアマット1,100万円と言ったので、そんな高価なものであれば、大きいもので、サマースノーボードアプローチキッカー、あそこに置くようなものかなとちょっと勘違いしたものだから、もう一回質問する。

生涯学習課長 すみません。補足をさせていただく。こちらの機械器具借上料の中には、エアマットのほかにバーチカルランプだとか、動作解析アプリ、足裏センサーなどの借上料も含めての額である。

高田 晃 そうすると、バーチカルというと、室内でなくて、外用か。

生涯学習課長 おっしゃるとおりだ。

高田 晃 どこに置くのか。設置場所、バーチカル。

生涯学習課長 外の芝生山のところに設置をしている。

高田 晃 分かった。もう一点だが、ナショナルトレセン、全国でも41か所ぐらい、いろんな各地にあるが、今回村上市のスケートパーク、指定を受けたと、非常にいいことだなというふうに思うし、将来展望的にいろんな施策がこのセンターを通じてできるのではないかなというふうに思うのだが、1つ、ちょっとどこのいわゆる競技別の強化拠点施設でも、例えばその上部団体、中央競技団体等とうまく連携して、その施設の運営あるいは事業展開しているのだが、この場合だと、見ると一般社団法人ワールドスケートジャパン、ローラースケート連盟の前身がこの連盟だが、ここの関わりとか、連携の仕方とか、そんなのはどんなふうこれから進めていくものか。

生涯学習課長 すみません。室長のほうから答弁いたさせる。

スポーツ推進室長 中央競技団体のコーチが村上市スケートパークのほうにも来られる。機能強化協議会というふうなものを開催して、そういった情報交換をしたり取組について協議することになっている。

高田 晃 何かそこと連携して、この組織見るとやっぱりローラースケートだけでなく、いろんな種目が9種目ぐらい一緒になったような組織なので、そことうまく連携して、事業なんかの協力関係、その辺なんかもこれからしていくものか。

スポーツ推進室長 事業協力についても、これから打合せをしながら検討していくことになる。

高田 晃 最後に、ナショナルトレセン、この中央競技団体の上部には日本スポーツ協会があるし、当然その上にはスポーツ庁がある。この辺との連携も当然していくのだが、新潟県に医科学センターというのがビッグスワンにあるが、この辺との連携なんかは今後考えていくものか。

生涯学習課長 先ほど市の独自のメニューとしてスポーツドクターであるとか看護師、管理栄養士等の謝金についても見ていきたいというような説明をさせていただいた。その前段に当たっては、お願いをするに当たっては、やはり近くの新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターというところと協力をしながら、どうやったら医科学的に有効なのか、向上できるのかというようなところを詰めてまいりたいと思うので、連携のほうは図ってまいりたいというふうに考えている。

高田 晃 ぜひ今強化策、技術オンリーだけでは世界で勝てないので、できれば身体的な能力も改善してあげるためには、やっぱり医科学的な見地がどうしても必要になってくるので、こことの連携ぜひやってほしいなというふうな要望である。以上だ。

生涯学習課長 しっかりと取り組んでまいりたいと思う。ありがとうございました。

第14款 予備費

(質 疑)

(「なし」と呼ぶ者あり)

第2条「第2表 地方債補正」

(質 疑)

(「なし」と呼ぶ者あり)

(自由討議)

(「なし」と呼ぶ者あり)

(賛否態度の発言)

(「なし」と呼ぶ者あり)

以上で質疑を終結し、自由討議を求めたが自由討議なく、賛否態度の発言を求めたが賛否態度の発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第77号のうち総務文教分科会所管分については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定した。

分科会長（小杉武仁君）閉会を宣する。

(午前11時28分)